

利賀っ子だより



R 3 . 7 . 6

○ うれしいけど寂しい

児童玄関のそばにできていたツバメの巣。子供たちは毎日、その様子を観察してきています。

「(下に落ちている) ふんが増えたから、ひながかえったに違いない。」「親鳥が何回も巣に戻ってきているから、子供たちが大きくなって、えさをたくさん食べるようになったのだと思う。」「(子供が) 大きくなると(親が) 大変なのは人間と違う。」「えっ、同じだよ。」など、見たこと、調べたこと、聞いたことを基に見えない巣の中の様子を想像しては、話をしていました。

この頃は、ひなが巣から顔を出していることも多く、もうすぐ巣立つのではないかというのが子供たちの予想です。

「無事に大きくなったのはうれしい。」「いなくなるのは寂しい。」「せめて、夏休みになるまで、(巣に) いてほしいな。」巣立ちに対する複雑な思いを口にしていました。子供たちにたくさんの学びを与えてくれるツバメの観察は、もうしばらく続きそうです。



○ 今年は記録を伸ばすぞ



利賀小学校のプールには、屋根があります。雷が鳴らない限り、雨天でも気温や水温等の条件が整えば、水泳学習をすることができます。

今のところ、先月末に水泳学習を始めてから天候による水泳学習の中止はありません。子供たち、特に山村留学生たちは、水泳の学習ができること、そして、それが、天候を気にせずに行えることを大変喜んでいきます。

「利賀に来たチャンスに泳げるようになりたい。」

「たくさん泳いで、自分の記録を伸ばす。」「少しでも速く泳げるようになる。」それぞれが、自分なりの目当てをもって学習に取り組んでいます。

水泳記録会は、来月 26 日の予定です。恵まれた環境に感謝して、練習に励んでほしいと思います。今週と来週には、市内のプールの指導員さんによる水泳指導も予定しています。
(高田 公美)